

AIで変わる防犯カメラ

第23回 日本防犯設備協会 特別セミナー

日時

2021年10月15日(金)
13:00~16:30

場所

国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟 1F セー101会議室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL: 03-3469-2525

参加費: 無料

13:00~13:10	協会からのご挨拶
13:10~14:10	講演1. ・画像解析とAIを活用した防犯カメラシステム 公益社団法人 日本防犯設備協会 映像セキュリティ委員会委員長 鈴木 卓哉 氏 副委員長 大藪 寛 氏
14:20~15:20	講演2. ・AI/ディープラーニングの最新動向と活用事例 一般社団法人 日本ディープラーニング協会 理事 兼 事務局長 岡田 隆太郎 氏
15:30~16:30	・AIデータとプライバシーについて ～カメラ画像利活用における課題とJDLAの取組み～ 一般社団法人 日本ディープラーニング協会 弁護士(阿部・井窪・片山法律事務所) JDLA「AIデータと個人情報保護」研究会副座長 柴山 吉報 氏

参加のお申込み方法(先着100名様)

受講希望の方は協会ホームページのTOPICSにある「第23回 特別セミナーのご案内」より申込をお願いします。
また、スマートフォンからはQRコード読み込みでも申込出来ます。

特別セミナー申込のURLは下記の通り

URL: http://www.ssaj.or.jp/entry/schedule.php?evt_kind_id=3000



会場の人数制限解除に伴う追加募集中です。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限、マスク着用、体温測定、アルコールによる手指消毒及び換気を徹底し開催します。ただし、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発せられた場合は開催中止といたします。

受講票について

申込で登録されたメールアドレスに受講票を送付いたしますので印刷し当日受付に持参をお願いします。

会場案内図

<国立オリンピック記念青少年総合センター>

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL: 03-3469-2525

<http://nyc.niye.go.jp>

<交通のご案内>

- 小田急 参宮橋駅下車 徒歩7分
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩10分
[代々木公園方面 4番出口]
- 京王バス
新宿駅西口(16番)より<代々木5丁目下車>
渋谷駅西口(14番)より<代々木5丁目下車>



講演内容



鈴木 卓哉 氏



大藪 覚 氏

講演 1. 13:10～14:10

「画像解析と AI を活用した 防犯カメラシステム」

公益社団法人日本防犯設備協会

映像セキュリティ委員会委員長 鈴木 卓哉 氏

〃 副委員長 大藪 覚 氏

講演概要

前半では、映像セキュリティ委員会が2019年にまとめた「画像解析に関する調査研究報告書」の内容を中心に、防犯カメラ（ネットワーク型）の市場規模と市場動向、代表的なAI技術であるディープラーニングの画像解析における位置付けと重要性、防犯用途における画像解析・画像認識技術と応用システムを顔認証、車番認証、動体不動体検知を例に解説します。また、各社で進めている画像解析関連の活用事例も紹介します。

後半は、現在実際に市場で販売されているAI商品（防犯カメラ）を、その画像認識や画像検出動作がわかるような映像をお見せしながら顔認証、動体検知、骨格検出、密集検知、人数カウント等への応用例を紹介します。

鈴木 卓哉 (すずき たくや)

映像セキュリティ委員会 委員長
株式会社日本防犯システム
営業本部営業企画部 部長

主に防犯カメラ等映像セキュリティ機器の開発・企画・販売に従事。

2016年1月から（公社）日本防犯設備協会映像セキュリティ委員会委員、2021年4月から同委員会委員長に就任。

総合防犯設備士。

大藪 覚 (おおやぶ さとる)

映像セキュリティ委員会 副委員長
パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社
コーポレートテクノロジー電気プラクティスマネージャー

主に防犯カメラ等映像セキュリティ機器の設計・開発に従事。

2017年4月から（公社）日本防犯設備協会映像セキュリティ委員会委員、2021年4月から同委員会副委員長就任。

講演内容



講演 2. 14:20～15:20

「AI/ディープラーニングの最新動向と活用事例」

一般社団法人 日本ディープラーニング協会

理事 兼 事務局長 岡田 隆太郎 氏

講演概要

ニュースやビジネス記事で「AI（人工知能）」という言葉を見ない日はありません。長い歴史の中でさまざまな変遷をたどっている AI ですが、昨今の AI 活用には DL（ディープラーニング）や機械学習の手法が当たり前のように使われています。技術の特性を理解し、適切にビジネス応用されれば事業活動に、日本の産業に大きなインパクトをもたらす可能性を秘めています。

本講演では日進月歩で進化する AI 領域の技術トレンドや AI/DL 活用事例を用いて AI ビジネスの現在地を示し、AI 先進国といわれる米中に比べて日本で導入が進まない背景、そして変革に必要な課題意識をお話します。

岡田 隆太郎（おかだ りゅうたろう）

一般社団法人 日本ディープラーニング協会
理事 兼 事務局長

慶應義塾大学経済学部在学中に起業。代表取締役として会社経営およびプロジェクトリーダーとして従事。事業売却後事業会社を連続設立し、2012年 株式会社 ABEJA を共同創業。2015年 攻殻機動隊 Realize Project を発足し、コンテンツを活用したアカデミアと産業の連携する場を創設。同年より、IT 経営者のコミュニティイベント Infinity Ventures Summit の運営事務局を設立し事務局長に就任。2017年、ディープラーニングの産業活用促進を目的に一般社団法人日本ディープラーニング協会を設立し事務局長に就任。2018年より同理事兼任。2019年より全国高等専門学校ディープラーニングコンテストを開催。2020年、緊急時の災害支援を実行する、一般社団法人 災害時緊急支援プラットフォーム を事務局長として設立。コミュニティ・オーガナイザーとして、数々の場作りを展開している。

文科省「データ関連人材育成プログラム」評価委員、NEDO「モビリティサービス分野アーキテクチャ検討委員会」委員、高専機構「COMPASS5.0 外部評価委員会」委員

講演内容



講演 2. 15:30～16:30

「AI データとプライバシー」

～カメラ画像利活用における課題と JDLA の取組み～

一般社団法人 日本ディープラーニング協会

弁護士（阿部・井窪・片山法律事務所）

JDLA 「AI データと個人情報保護」研究会副座長

柴山 吉報 氏

講演概要

AI の開発・データ利用に伴う個人情報の取扱いについては、まだ議論が十分にされていないとはいえ、そのことが AI の開発やデータ利用において障壁になり得る状況です。多様な企業が混在、独特な産業構造をもつ日本のビジネス社会において技術活用によるビジネスチャンスの拡大、DX 推進、既存事業への付加価値の創造を促進していくためには個社による技術開発や営業努力だけでなく業界共通のスタンダードルールが必要となってきます。

JDLA では AI の開発・データ利用に伴う個人情報の取扱いに関する法的問題点を整理し、法制度の解釈と遵守のためのスタンダードを示すことを目的に「AI データと個人情報保護」というテーマで研究会活動を行っております。

本講演では、同研究会の取り組みと共に、小売現場への導入実績の多い ABEJA（JDLA 正会員）の事例を用いてカメラ画像利活用における AI 領域の共通課題と企業に求められる対応例をご紹介します。

柴山 吉報（しばやま きっぼう）

一般社団法人 日本ディープラーニング協会

弁護士（阿部・井窪・片山法律事務所）

JDLA 「AI データと個人情報保護」研究会副座長

AI の開発を行うベンチャー企業に 2 年間参画するなど、AI を中心とする IT の分野の契約法務、個人情報・知的財産を含むデータの取扱い、AI ガバナンス体制構築等について豊富な経験を有する。主な取扱分野は、一般企業法務、人事労務、ベンチャー法務、事業再生、M&A 等の各分野。IT 企業のクライアントが多く、システム開発、AI のモデル開発及びデータの取引等の相談及び契約書の作成、知的財産戦略等に関するアドバイスなどを行う。機械学習エンジニアの資格（JDLA Deep Learning for ENGINEER 2020 #1, FUJITSU Certified Master AI）を有し、AI エンジニアとしての知見を用いて踏み込んだアドバイスを提供している。著書に『Q&A AI の法務と倫理』（共著・中央経済社）、『第 4 次産業革命と法律実務—クラウド・IoT・ビッグデータ・AI に関する論点と保護対策—』（共著・民事法研究会）等